

温水便座の電源断

運用改善 メンテナンス チューニング 設備更新

- 温水便座の電源をオフにすることで節電になります。

試算例

温水便座の電源をオフにすると...

- 節電効果：**節電効果 2万円(夏季)** 【業務用電力単価を適用】
節電電力 約 0.5kW
節電電力量 約 1,100kWh

- 対策内容：**温水便座の電源断**

- 計算式： 節電電力(kW) = 定格消費電力 × 便座台数
節電電力量(kWh) = 節電電力 × 対象時間 × 対象日数

(試算条件)

定格消費電力: 0.025kW
便座台数: 20台(仮定)
対象時間: 24時間/日
対象日数: 90日/年

ポイント

- 過剰な取組みとならないようご注意ください。
- ウォシュレットが瞬間式(使う時だけ温める)よりも貯湯式(常にお湯を貯めておく)の場合に効果があります。

参考

【温水便座の電源断】

温水洗浄便座の操作パネル例



【節電のポイント】

節電モードがある便座の場合は、節電モードを活用することでも効果があります。
冬季で実施する際に、便座が冷たい場合は便座の温度を「低」にすることで消費電力を抑えます。また、蓋を閉めることで保温効果を高めることができ節電になります。